

### 3 住宅リフォーム 助成制度を早く 震災後の変動もあり、 考えていく

**問** 前議会に引き続きの質問だが、この制度創設にむけた意義付けや対象工事の設定などの検討はどこまで進んだか。

景気が落ちこんでいる今、町内業者の仕事は少なく、また町の重点施策としての住宅耐震化や合併処理浄化槽の普及もすんでいない。

少しの予算でも驚くべき経済波及効果が見込まれるこの制度、町の財政に余裕のあるこの時期に制度化すべきだ。まさにこの制度は「緊急経済対策」だ。

**答** 景気と町内業者の現状はその通りであり、耐震化等の施策もすすんでおらず、制度の必要性は承知している。

ただ、今回の東日本大震災で、業界や住民の中でもリフォームの考え方や施工についての変動があると思う。これらの動向も注視しながら制度創設のあり方を考えていきたい。

また、町外にリフォーム専門業者が存在することから、町内業者の受注、施工体制への対応等について、意見を直接聞く機会もほしいと考えている。



### 請願の審査

産業建設常任委員会

「最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書」の提出を求める請願

請願者

和歌山県御坊市藤田町吉田369-6

日高地方労働組合連絡協議会

議長

小田 憲

紹介議員

原 孝文

審査の結果、最低賃金の引き上げは、中小零細企業にとっては大きな負担となり、失業者を増加させないためにも引き上げるべきではないとの理由から不採択と決定。本議会において不採択。

## 特別委員会報告

議員定数と議会のあり方に関する調査特別委員会（議長を除く15名構成）

4月5日、本会議場にて特別委員会を開催しました。

議員定数を定めることが、今回の予定でありました。各委員から、議員定数に関する意見（人口

比、面積比、予算比による数的根拠・近隣町との比較・住民の声・一般会計の予算規模・合併前との比較等）が出されました。定数は、14人、12人、10人の意見が出たため、採決による決定がなされ、「12人」が賛成多数で議決されました。

議員定数を定めることが、今回の予定でありました。各委員から、議員定数に関する意見（人口

比、面積比、予算比による数的根拠・近隣町との比較・住民の声・一般会計の予算規模・合併前との比較等）が出されました。定数は、14人、12人、10人の意見が出たため、採決による決定がなされ、「12人」が賛成多数で議決されました。



議場



3月11日東北太平洋

沖で発生したマグニチュード9という、わ

が国観測史上最大の地震と、直後の大津波、

さらに原子力発電所の事故により、東日本は

未曾有の大災害に見舞

われました。

犠牲になられた方々

に対し、哀悼の意を表

しますと共に、被災さ

れた皆さまにはお見舞

い申し上げます。

原子力発電所からの

放射能漏れや、強い余

震が続く中、不自由な

生活をされている方々

が、一日も早く平穏な

暮らしに戻れますよう

お祈りいたします。

私たちも被災地から

の情報を収集し、必要

とされる支援に全力を

尽くします。

助け合おう！

力を合わせよう！